

4. クロマグロ資源調査

下山 俊一

目的

国連海洋法ではマグロ類等の高度回遊性魚類について、沿岸国及び漁業国が直接もしくは適切な国際機関を通じてその保存、管理に協力することとされている。

このうちクロマグロにおいては我が国周辺水域において他種多様な漁獲・利用がされていることから、当該資源の安定的な利用の確保のため、科学的データの完備を図る。

方法

1) 漁獲情報調査

主に境港でまき網により水揚げされたクロマグロの水揚げ伝票を整理し、銘柄別の水揚げ尾数及び重量を集計する。

2) 生物測定調査

境港にまき網漁業によって水揚げされる漁獲物について、体長及び体重を測定する。

3) 標本採集調査

境港にまき網漁業によって水揚げされる漁獲物について、生殖腺、筋肉及び硬組織（耳石、脊椎骨等）の採集を行う。

結果

本年のマグロ（親魚）水揚げ状況を図1に示した。夏季の大中型まき網による水揚げ本数は32,310本、総水揚げ量は1,702トンで、過去最高の水揚げとなった（前年6,768本、433トン）。

また、本年のクロマグロ銘柄別水揚げ量を表1に示した。

夏季のマグロ漁の初漁日はここ数年早まる傾

向にあり、本年は昨年より6日早い6月27日に始まり、8月12日の終漁までに31日間延べ46カ統が水揚げした。

本年の漁場は、聞き取りによると漁期当初能登周辺に形成され、その後山陰沖等にも拡大していったようである。

大型個体の漁獲時期は平年と同様夏期が中心であった。

本年の漁獲は、30kg前後の小型個体が漁獲尾数の60%程度を占め、新規の卓越群が来遊したものと推定される。

昨年も同様のサイズの個体が多くが漁獲されたがそれとは別の群と考えられ、昨年の群の本年への繋がりも顕著ではなかった。

ヨコワは、6月を中心に水揚げがみられたが昨年ほどの大量漁獲はなされなかった。

本年夏季に水揚げされたマグロの測定日別体長組成を図2に、経年変化を図3に示した。7月に水揚げされた成魚の平均尾叉長は 142.1 ± 34.1 cm、平均体重は 62.9 ± 46.5 kgで、前年の平均尾叉長より9.2cm、平均体重より10.7kg小さかった。

本年の水揚げは尾叉長120cm台にモードを持つ推定3歳魚が主体であり、1994年生まれの卓越群である10歳魚もわずかではあるが残っていると考えられた。

3歳魚と推定される小型群も生殖腺は比較的発達しており再生産に関与している可能性がある。

また、1997年にBajaCaliforniaでNMFSにより標識放流された個体が再捕された。

水揚量(トン)

尾数

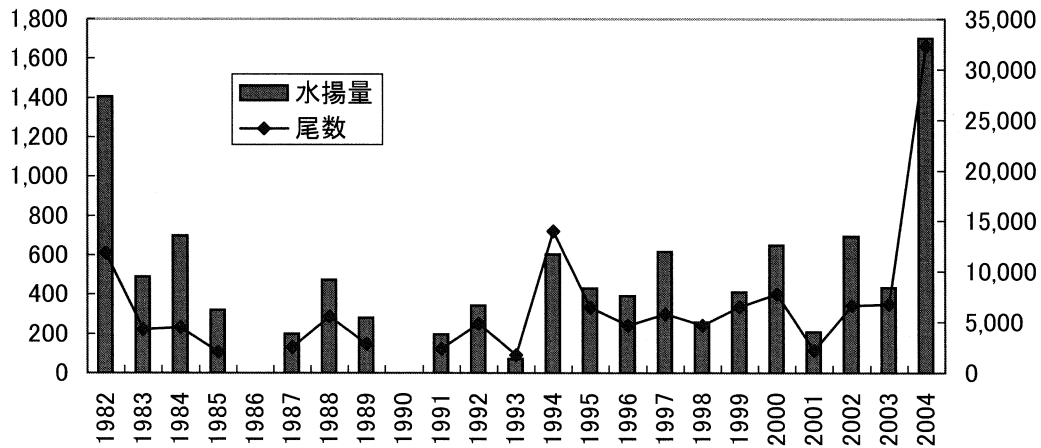


図1 境漁港における夏期クロマグロ（親魚）水揚量の経年変化

表1 2004年境漁港クロマグロ漁獲量

(UNIT : kg)

月	ヨコワ	マグロ	計
1			
2			
3			
4			
5			
6	276,662	61,756	338,418
7	1,688	1,350,886	1,352,574
8		289,783	289,783
9			
10			
11			
12			
計	278,350	1,702,425	1,980,775

表2 2004年夏期成魚日別漁獲量

(UNIT : kg)

月日	隻数	本数	水揚量
6月27日	1	980	29,829
6月30日	1	998	31,927
7月1日	1	744	59,100
7月3日	2	1,550	99,395
7月4日	1	752	49,831
7月5日	1	305	38,799
7月6日	1	2,255	66,223
7月7日	3	2,060	126,363
7月8日	5	1,256	82,625
7月9日	1	479	16,171
7月10日	1	236	21,053
7月11日	1	1,699	48,612
7月12日	1	269	29,886
7月13日	3	1,941	60,996
7月14日	2	1,908	65,249
7月15日	3	3,154	161,309
7月16日	2	1,446	90,934
7月17日	2	1,343	65,301
7月19日	1	975	94,880
7月21日	1	527	35,200
7月25日	1	460	34,540
7月26日	1	387	45,038
7月27日	1	205	16,988
7月28日	1	132	9,291
7月29日	1	283	21,032
7月30日	1	159	12,070
8月3日	1	783	41,794
8月4日	1	141	4,550
8月6日	1	119	8,705
8月9日	1	762	43,722
8月12日	2	4,002	191,012
計	46	32,310	1,702,425

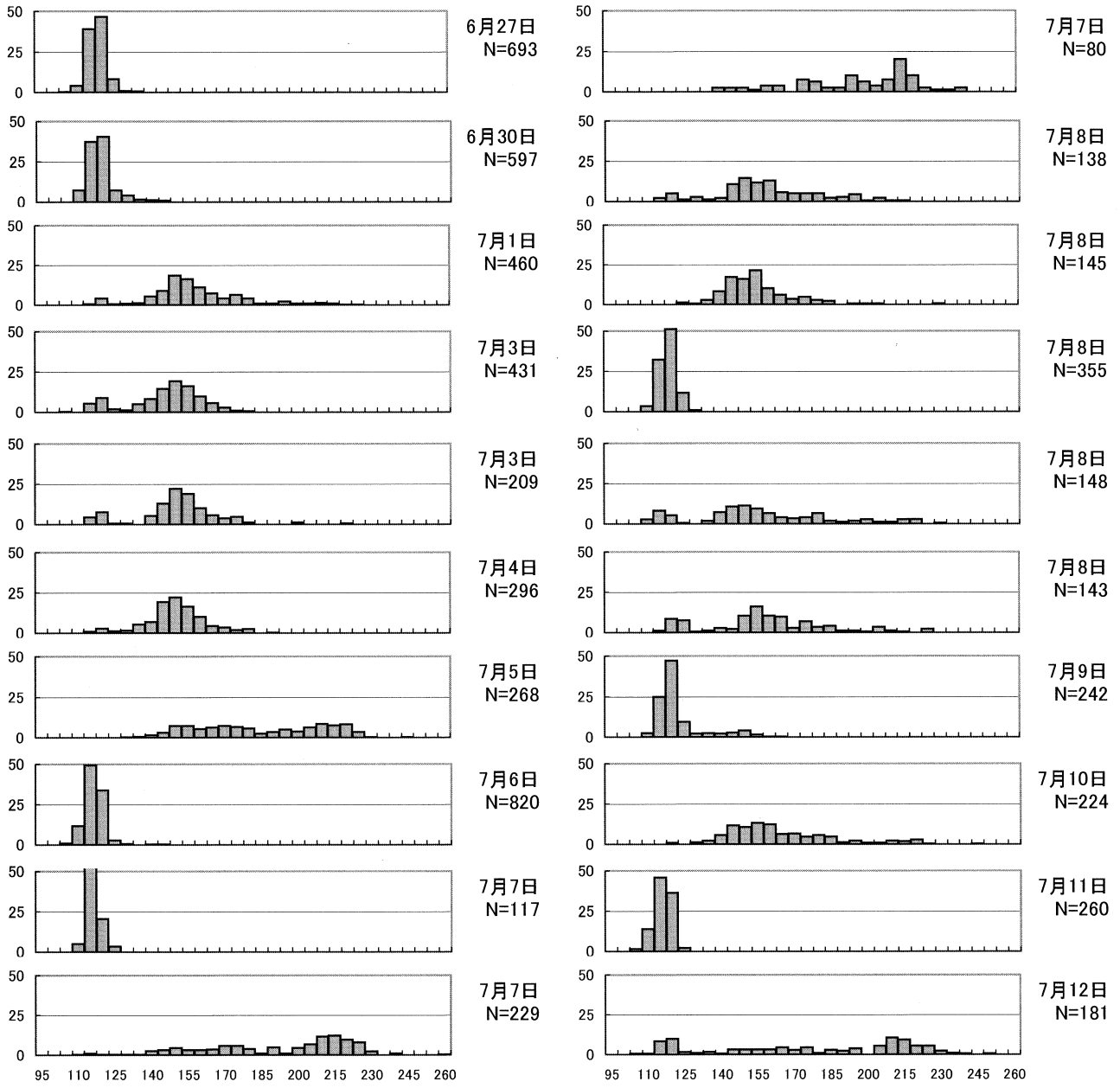


図 2-1 2004年日別尾又長組成 (横軸: 尾又長cm、縦軸: 頻度%)

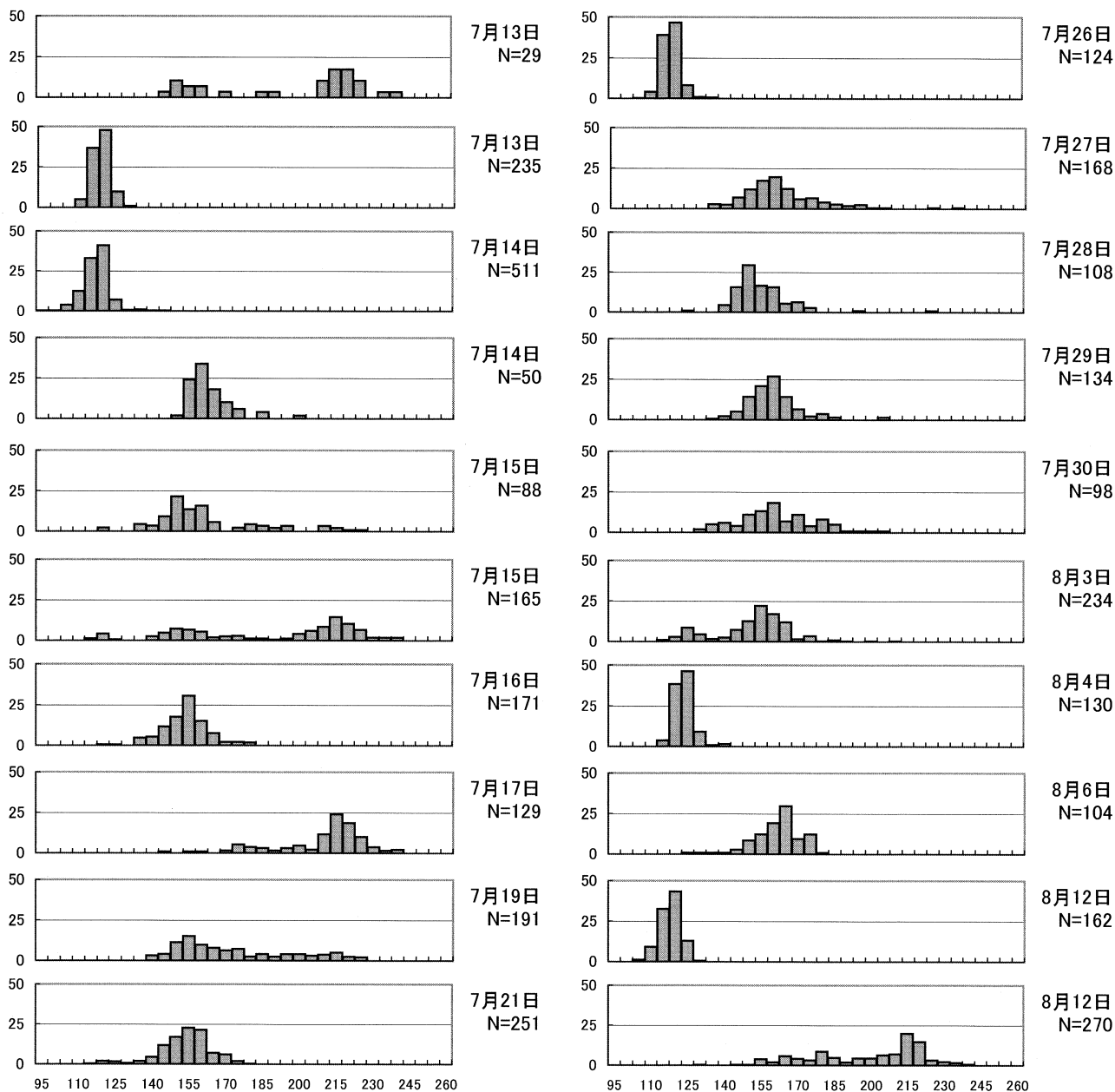


図 2 - 2 2004年日別尾叉長組成 (横軸：尾叉長cm、縦軸：頻度%)

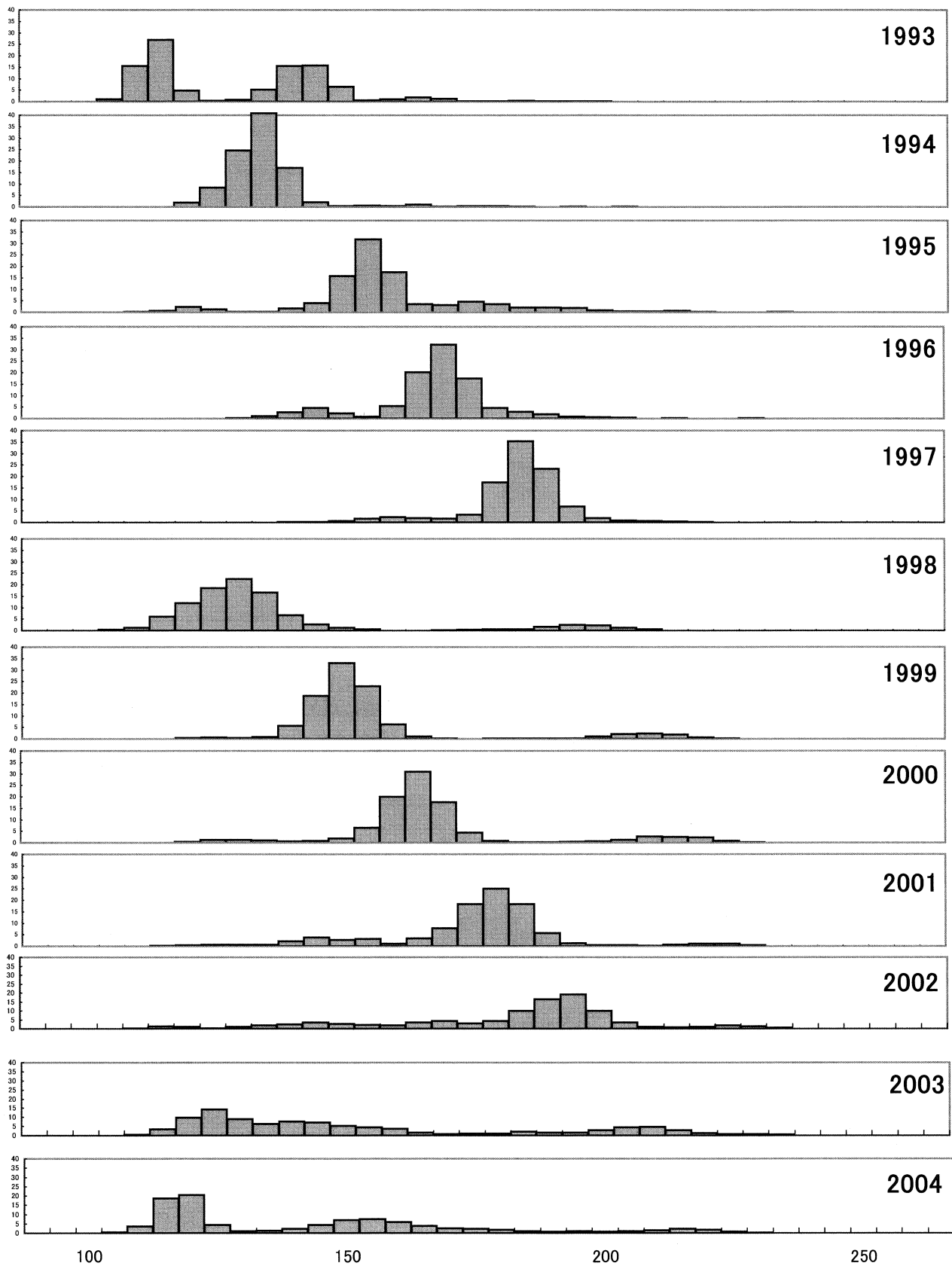


図3 夏期成魚尾叉長組成の推移 (横軸：尾叉長cm、縦軸：頻度%)